

農地適格法人（有）宝箱



有機茶畑の風景



農産加工製品

島根県松江市大庭町空山地区^{おおぼちようそらやまろく}では、農家の高齢化、後継者不足等により耕作放棄地が増加していたが、空山地区近郊で造園業を営んでいた松浦造園（株）は、耕作放棄地を解消し以前の空山地区の景色を取り戻そうと平成15年2月に農業生産法人（有）宝箱を設立し、農業に参入した。

造園業で発生する剪定くずを原料とした植物性堆肥を作り、それを施用した農業を行い、現在では有機栽培で茶、柿、柚子、梅を生産する他、ブルーベリー、エゴマなども手がけている。

自家製の堆肥による徹底した土づくり、毎月の手取り除草と機械除草に加え、木屑チップを敷くことによる雑草対策、防風林の設置、誘蛾灯の設置等で化学合成農薬を使用しない栽培方法を実践している。



島根県松江市



農産加工場の2階から有機栽培圃場を眺められる様にし、圃場見学の際に学習の場として活用している

〔有機性廃棄物分解〕

剪定くず等を原料とした植物原料由来の堆肥生産に取り組むほか、8haの畑で栽培しているお茶では自社で生産・加工・販売に取り組み、平成22年に生産工程（栽培から荒茶加工まで）の有機JAS認定を受けている。

〔体験学習と教育〕

農林高校等のインターンシップの受入による担い手の育成、SDGs教育授業の有機圃場見学にも対応している。

〔景観保全型農業〕

平成21年に国の耕作放棄地再生利用緊急対策を行い、耕作放棄地の農地利用と共に、美しい里山の風景を取り戻そうと景観保全にも取り組む。



自家製の木屑チップを敷いて雑草対策を行っている有機柿栽培圃場の様子



松江のシンボル宍道湖と有機茶畑の春の風景【景観保全型農業】